まえばし 市議会だより

No.173
2025・8
前橋市議会発行

— 主な内容 —

○第２回定例会の概要 …… P.2
○会派別の質問事項 …… P.2～3
○総括質問 …… P.4～10
○議案の議決結果 …… P.11
○意見書 …… P.12

前橋七夕まつり

前橋市議会ホームページ
https://www.city.maebashi.gunma.jp/gikai/index.html

一般会計補正予算などを可決

補正後の予算額は1585億円

令和七年第二回定例会を六月十日から二十七日まで開き、「令和七年度前橋市一般会計補正予算」などの市長提出議案二十件、意見書案十一件を審議しました。その概要を紹介します。

○第1日（6月10日）

富田議長が第二回定例会の開会を宣告した後、会期を六月十日から二十七日までの十八日間とすることを決め、三人の会議録署名議員を指名しました。

次に、議案第七十六号「令和七年度前橋市一般会計補正予算」など十九件の市長提出議案を上程し、所管の各部長から提案理由の説明がありました。

○第2日（6月17日）

上程中の議案や市政に対し、十一人の議員が総括質問を行い、市長や所管の部長などがこれに答えました。（総括質問の要旨は4㌻～10㌻に掲載）

○第3日（6月18日）

前日に続き、十二人の議員が総括質問を行いました。

○第4日（6月19日）

前日に続き、八人の議員が総括質問を行いました。

次に、上程中の議案十九件について、委員会付託を省略し、日本共産党市議団から議案第八十二号に対する反対討論の後、採決を行い、全て原案のとおり可決及び承認しました。（議決結果は11㌻に掲載）

次に、県外先進地調査のため議員派遣四件を議題とし、申し出のとおり承認しました。

○第5日（6月27日）

初めに、固定資産評価員の選任に係る人事案件（件名及び氏名は11㌻に掲載）の市長提出追加議案を上程し、採決を行った結果、同意しました。

次に、議会の意思として、市民の公益に関する意見を国会や関係行政庁に提出しようとする意見書案十一件を上程し、採決を行った結果、「地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書」など五件を可決し、第二回定例会は閉会しました。（可決した意見書の要旨は12㌻に掲載）

会派別の質問事項

□前橋高志会　①まちづくり②クリエイティブシティ構想③本町二丁目五差路交差点④前橋テルサ⑤農業施策⑥子育て施策⑦産業施策⑧農業の取組⑨生成ＡＩの活用⑩公共交通利用者数と公共交通計画⑪地域の課題⑫社会福祉運営事業⑬ふるさと納税の現状⑭第八十三回国民スポーツ大会⑮東京オリンピック二〇二〇⑯新時代を拓く社会教育⑰教育関係団体⑱市内小中学校の指導体制の現状⑲部活動の地域展開⑳中心商店街㉑ＤＸ㉒市民サービス㉓消防関係行政手続におけるオンライン化㉔地域の諸課題㉕防災㉖通学時の安全対策㉗都市計画マスタープランの改定㉘物品の購入㉙子供政策㉚下水道事業㉛産業政策㉜ＤＶ、ハラスメント対策㉝歴史都市前橋㉞環境問題㉟シティプロモーション㊱前橋市営住宅広瀬団地建替事業㊲ＡＩデータセンターの誘致㊳Ｊ―クレジットの活用㊴

議員表彰

長年にわたり地方自治の発展と市政の振興に貢献された功績に対し、（写真右から）中林章、金井清一、三森和也各議員が議員20年以上で、近藤登議員が議員15年以上で、全国市議会議長会から表彰されました。

令和７年第２回定例会の開会に先立ち、表彰状の伝達が行われ、次いで、議長及び市長から感謝状が贈呈されました。

◀議場での議案審議

介護、福祉施設の価格高騰対策㊵農業者に対する赤字補填㊶有害捕獲獣のジビエとしての活用㊷田んぼダムの活用

□前橋令明　①前橋テルサ利活用②少子化対策③婚姻対策④小中学校の適正規模⑤職員の健康⑥臨江閣の指定管理⑦市のホームページ⑧地域の諸課題⑨六月補正予算⑩入札の改正⑪本庁舎地下売店の状況⑫前橋の活性化⑬教育行政⑭前橋総合運動公園⑮橋梁長寿命化修繕計画事業⑯残土処分場の活用⑰赤城山観光事業⑱災害対策⑲下水道の事業計画⑳農業政策㉑ウォーカブルな街㉒中学校部活動民間移行㉓交通政策㉔都市計画道路㉕有価物集団回収事業㉖市政情報の発信方法㉗空き家対策㉘スタートアップ事業㉙企業誘致㉚市営住宅㉛文化財保存活用地域計画㉜外国人共生社会の推進㉝空き家対策総合支援事業補助金㉞地域公共交通㉟スポーツ施設㊱子育て支援施設

□日本共産党市議団　①千代田町中心拠点地区再開発事業②熱中症対策③臨江閣の指定管理と文化財保護の課題④前橋テルサの存続⑤マイバス、デマンドバスの利便性向上と運賃値上げの問題点⑥補聴器購入助成制度の拡充⑦下水道使用料値上げの中止⑧会計年度任用職員の処遇改善

□公明党市議団　①物価高騰対策②マイタクの制度改正③農業政策④一一九番通報への対応⑤中心市街地再開発事業⑥前橋市公共施設等総合管理計画⑦健康寿命延伸の取組⑧安全な地域づくり⑨教育行政⑩就職氷河期世代支援

□まえばし市民クラブ　①本市の産業振興施策推進②本市職員の働き方③食料支援対策④清掃行政⑤戦没者追悼式⑥群馬県カスタマーハラスメント防止条例⑦自治会⑧ＪＲ新前橋駅周辺の再開発事業⑨新前橋駅前ロータリーの噴水⑩防災⑪ＤＸ⑫電子地域通貨⑬空き家対策

□七星　①農業行政

□ないろ　①視覚障害者支援②市有施設③農業④防災⑤選挙

□無所属の会　①タウンミーティング②県民会館③前橋テルサ④千代田町中心拠点地区再開発事業⑤七夕まつり

□暁鐘　①無縁遺骨②歴史的資源の活用③県民会館に係る課題

□無所属クラブ　①防災②農業施策③学校給食

【委員会行政視察】

所管事務について調査するために県外行政視察を行いました。

委員会、期間	視察先、調査事項
総務常任委員会 5月21日～23日	広島県福山市：SDGs未来都市 愛媛県今治市：戦略的情報発信プロジェクト 広島県東広島市：Town&Gown構想
建設水道常任委員会 5月21日～23日	滋賀県米原市：空き家対策（米原市空家等対策計画、恋する空き家プロジェクト） 兵庫県姫路市：姫路駅周辺整備、姫路市ウォーカブル推進計画 静岡県富士市：下水道事業における包括的民間委託
教育福祉常任委員会 5月28日～30日	富山県富山市：ひとり親家庭の支援 福井県福井市：新学校給食センター整備に係る事業 兵庫県尼崎市：うけとめ・つなげる相談支援（重層的支援）の推進
市民経済常任委員会 5月28日～30日	東京都豊島区：マンガ・アニメを中心とした観光施策 愛知県名古屋市：名古屋市環境学習センター（エコパルなごや） 岡山県岡山市：スタートアップ支援業務（ももたろう・スタートアップカフェ）

政務活動費の情報公開

議員が行う調査研究などの活動に必要な経費の一部として、議員一人当たり月十万円の政務活動費を会派に対して交付しています。

令和六年度分の収支報告書及び領収書などの証拠書類は市庁舎二階の情報公開コーナー、市議会ホームページで公開しています。

質問

前橋高志会
小曽根 英明

千代田町中心拠点地区の再開発

〈問〉千代田町中心拠点地区再開発事業について、早期の完成を待ち望む声を多く聞いています。①事業のスケジュール②今後の課題について伺います。

〈答〉①令和七年度は組合を設立し、実施設計などの作成に取り組み、令和八年度は解体工事に着手し、順次各施設の新築工事を行います。工事全体の竣工は、令和十二年度を目標としていますが、影響を見極め事業を円滑に進めたいと考えています。②資材の価格や労務費などの上昇が複合的に影響していますが、影響を見極め事業を円滑に進めたいと考えています。

前橋テルサの現状

〈問〉解体設計を行う一方で、前橋テルサの活用に関するサウンディングでは、既存建物の活用による提案も受け付けるとしています。前橋テルサを巡る動きの現状を伺います。

前橋テルサ

〈答〉サウンディングでは複数の事業者から提案があり、一部の提案について、追加ヒアリングによる深掘りを進めています。

前橋高志会
藤江 彰

施設園芸農家への支援

〈問〉施設園芸農家の更なる発展には、家族経営に加え、法人化された組織づくりや六次産業化の促進など、さまざまな展望が考えられます。物価高騰の中、本市の農業生産に大きな役割を担う施設園芸農家支援の考え方を市長に伺います。

〈答〉年間を通じ農作物を安定的に供給し、ほんとうに重要な役割を担っていると認識していて、省エネ機器導入などの支援や被覆材の補助に取り組んでいます。引き続き、販路拡充や付加価値の向上など、持続可能で、新しい農業に取り組めるような支援を考えていきます。

飼料用米の作付支援

〈問〉主食用米に切り替える耕種農家の増加が懸念され、これまで耕畜連携で計画的に飼料用米を普及啓発してきた本市でも大きな問題だと感じますが、飼料用米への作付支援を伺います。

〈答〉本市農業の特徴である耕畜連携体制を維持するため、市内での飼料用米の確保、支援について検討していきます。

前橋高志会
間仁田 諭

保育士の人材確保

〈問〉清里保育所と第二保育所を視察しましたが、施設内はきれいで保育士のさまざまな工夫を感じました。調理室も徹底した管理で清潔な環境に整えられていて、このような公立保育所独自の魅力をアピールすることが保育士の人材確保につながると考えますが見解を伺います。

〈答〉時代のニーズに合った保育の在り方を常に研究し、公立としての強みを生かせるように取り組むとともに、大学などへの案内活動で公立保育所の魅力をアピールし、人材確保につながるよう努力していきます。

二次交通の充実

〈問〉群馬総社駅西口の開設に合わせて、より公共交通で移動ができるよう二次交通の充実が不可欠であり、バス事業者との調整が必要と考えますが見解を伺います。

〈答〉群馬総社駅西口を開設した際に重要となるのが路線バスを中心とした二次交通の充実であり、交通結節点として整備することで、充実したバスネットワークができると考えています。

前橋高志会
小川 真太郎

ホストタウンとの交流

〈問〉東京オリンピック二〇二〇で本市は、ハンガリー、南スーダン共和国など五か国とホストタウン登録が行われました。今後のホストタウンとのスポーツ交流及び実施団体に対する補助について見解を伺います。

〈答〉これまで築いた友好関係をたいせつにして、スポーツを通じた国際交流を推進したいと考えています。今後の補助の財源は、官民連携の仕組みを構築することが持続可能な交流の在り方の一つと考えています。

担任不在学級への対応

〈問〉市内小中学校で、年度途中に担任が不在となった学級への対応について伺います。

〈答〉臨時的任用教員が配置されるまでの間、学級への指導は校内の教員が分担して受け持つなど、校内で指導体制を整えて対応しています。教育委員会で

は、臨時的任用教員としての登録者や退職教員に粘り強く仕事を依頼するとともに、市ホームページや広報での募集など、さまざまな方法を活用して臨時的任用教員の確保に努めています。

前橋高志会
吉田 博昭

めぶくPay

〈問〉前橋版電子地域通貨めぶくPayについて、①これまでの利用状況②加盟店目線での課題への対応③市の支払いや給付への今後の展開を伺います。

〈答〉①令和七年六月八日時点の利用者数は二万四千二百二十人、加盟店舗は千五百十四店舗、累計決算額は約三十三億五千四百四十万円です②導入後のアフターフォローやITに不慣れな事業者への支援がじゅうぶんでなかった点は課題として認識しています。今後は運営主体のめぶくグラウンド株式会社に、加盟店向けの説明会などの開催、個別フォロー体制の強化、販売促進物のデザイン見直しなどの要望を行い、加盟店が安心して活用できる環境整備に努めます③本市は、これまでに六種の公的給付などへ採用し、市民の決済手段としては前橋すくすくこども館の利用料支払いに導入しました。市民にとってより身近な窓口での支払いへ導入を更に進めるため、デジタル化の機会を捉え、順次利用拡大に向けた取組に努めたいと考えています。

前橋高志会
林 倫史

防災道の駅

〈問〉道の駅には、大規模災害時の避難住民受け入れなどの防災機能に加え、広域的な復旧、復興活動の拠点としての機能を備えた防災道の駅があります。道の駅まえばし赤城は、立地からも今後防災道の駅として選定されることが望ましいと考えますが、当局の方針を伺います。

〈答〉市民や道路通行者の安心、安全につながる施設となるようハードとソフトの両面で防災機能を強化してきました。今後も防災道の駅に選定されるよう取り組みたいと考えています。

道の駅まえばし赤城　防災倉庫

通学路への防護柵の設置

〈問〉子どもの通学時の安全対策として、防護柵、ガードレールを設置し、物理的に車が子どもに接触できないようにすることが急務であると考えます。通学路への積極的な防護柵の設置について、見解を伺います。

〈答〉車両や歩行者の動線や道路の構造幅員などの要因から現場の状況に合った安全対策を推進し、防護柵についても必要に応じ設置したいと考えています。

前橋高志会
窪田 出

新たな補助政策

〈問〉さきの国会で、小中学生の給食無償化が三党で合意され、実現すれば、令和七年度から本市の一般財源で実施を始めた市立小学校の給食費無償化は、令和八年度から国庫にて実施され、この財源が別の政策へ展開できます。ぜひ既存の小規模事業者支援にプラスした新たな補助政策を実施すべきです。そこで、市長の優先事項である子ども、子育て支援として、習い事や地域展開の部活動を支援する事業は、子どもの可能性、地域経済の維持向上、保護者負担の軽減、税収増、いずれにも資すると考えます。①産業経済部長②子ども未来部長③指導担当次長④猪俣副市長の見解を伺います。

〈答〉①小規模事業者には、環境の変化に適切に対応し、稼ぐ力が向上し、経営の自走化につながる支援をしたいと考えています②関係課と知恵を出し合い、有効な活用方法を検討します③子どもの可能性を広げるよい機会なので、積極的に関係課と連携し検討していきます④子ども、子育て支援策をはじめ有効な活用策を、地域経済への効果も含め検討したいと考えています。

前橋高志会
新井 美加

DVに関する警察との連携

〈問〉本市はDV被害者に関して、県や警察とも連携し、相談者に寄り添った対応をしているということですが、具体的に警察とどのような連携を図っているのか伺います。

〈答〉DVなどの相談において危険性が高いと判断した場合には、相談者のプライバシーの保護に配慮しながら、安全を確保したうえで被害者の状況などを

質問

共有し、必要に応じて警察署への同行支援を行っています。

歴史都市前橋実現への取組

〈問〉市内で開催された群馬戦国御城印サミットでは多くの若者が集まり、たいへん活気がありました。厳しい財政状況が続く中で歴史都市前橋を実現するためには、こうした民間活力を取り入れることが不可欠と考えますが、今後の取組を伺います。

〈答〉民間活力を取り入れることは事業の継続性の観点からも非常に重要な要素であり、今後も民間団体と連携し、歴史都市前橋の魅力を知ってもらえるよう取り組みたいと考えています。

前橋高志会
近藤 登

データセンターの候補地

〈問〉企業や個人のクラウドの活用が拡大し、AIデータセンターの需要が高まっていますが、データセンターの候補地としての本市のポテンシャルをどのように捉えているのか伺います。

〈答〉本県は、地震や台風など自然災害のリスクが少なく、電力供給も首都圏と比べて一定の供給余力があると認識しているので、本市はデータセンター候補地として一定のポテンシャルを有していると考えています。

農業者に対する赤字補填

〈問〉農家の赤字補填は国がするべきことと考えていますが、市として少なからずとも赤字補填ができないのか伺います。

〈答〉市のみで全ての農業者の赤字を補填するのは難しいと考えています。そのため、収入保険制度の推奨や野菜価格安定制度の活用を推進しています。更に経営所得安定対策等交付金は、JA前橋市と連携し支援実務を担っていて、農業者の支援、赤字補填などに寄与しています。

前橋令明
林 幸一

小中学校の適正規模

〈問〉前橋市立小中学校の適正規模・適正配置基本方針の改定について、小規模校の今後の対応方針について伺います。

〈答〉令和八年度以降、適正規模地区委員会などを設置し、児童生徒にとってよりよい教育環境の整備充実を図るため、学校や保護者、地域の皆さんとともに取組を進めていきたいと考えています。

市ホームページの改善

〈問〉市ホームページの①より使いやすくなる改善②補助金制度など市民に必要と思われる情報の集約化について伺います。

〈答〉①重要な情報への導線を強化し、利用者の視点に立った情報構成を進めています。職員向けの研修を継続的に実施し、内容や分類方法などについても質の向上に努めます②補助制度を一目で把握できる、補助金等一覧として整理、掲載しました。他の分野も情報の集約と見やすさの向上を図っていきます。

前橋令明
横山 勝彦

前橋ウィッチーズと市の活性化

〈問〉テレビアニメ、前橋ウィッチーズは前橋市を舞台にしていますが、①本市のこれまでの取組経過、効果、反響②今後の展開について伺います。

〈答〉①市全体で作品を盛り上げる取組を行っていて、本市を訪れるファンも増え、市内経済の活性化にもつながっています②多くのファンを迎え入れるための環境を整えて市内の回遊性を高めることで、地域の活性化につなげたいと考えています。

上武小神明交差点

〈問〉上武小神明交差点は、南北の部分に右折車線がなく渋滞が発生しています。令和六年度に地元説明会を行い、関係地権者に事業化への承諾を得たと認識していますが、今後の予定について伺います。

〈答〉令和七年度に用地取得できるように事業を進める予定です。令和八年度から工事に着手し、早期に完成できるよう進めたいと考えています。

前橋令明
市村 均光

スポーツ施設の新料金制度

〈問〉前橋総合運動公園の各スポーツ施設は、平日には利用が少ない時間帯があります。そうした空き時間を活用し、定期的に施設を利用したい市民から、年間利用券などの新たな料金制度を導入してほしいという声がありますが、見解を伺います。

〈答〉現時点で年間利用券の対象施設拡大の考えはありませんが、本市に住所を有する六十五歳以上の人には割引率の高い共通回数利用券を発行しています。

ささら橋の更新工事

〈問〉粕川温泉元気ランドに近接しているささら橋は、現在更新工事が実施されていますが、工事の概要及び完成時期について伺います。

〈答〉令和二年の定期点検で木

製桁の腐食が確認され、緊急措置が必要と診断されました。令和四年度に構造を鋼鈑桁橋とする工事に着手していて、令和七年七月末の完成に向けて工事を行っています。

前橋令明
下田 一成

県立赤城公園

〈問〉県立赤城公園について、運行バス増便や駐車場整備、前橋の特産物のPRなど、よりよい事業展開を期待しますが、大沼キャンプフィールドと赤城ビジターセンター整備完了後の事業計画について伺います。

〈答〉積極的に情報発信を行い、周遊観光につなげるしくみなどソフト事業に注力するとともに、県や関係団体と連携して取り組んでいきたいと考えます。

ウオーターPPPの導入

〈問〉更新時期を迎える下水道施設の適切な維持管理や更新のため、民間活力の効果的な導入が必要だと考えますが、ウオーターPPPの導入に向けた現在の状況について伺います。

〈答〉導入に向けた検討を令和五年度より開始し、令和七年度は導入可能性調査に着手したところです。下水道事業の安定的かつ持続的な運営が実現できるよう、導入に向けた検討を進めていきたいと考えています。

前橋令明
水野 芳宣

西部環状線の未整備区間

〈問〉西部環状線について、元総社蒼海土地区画整理事業の区域界から大友町西通線の接続部までの区間が未整備となっていますが、今後の整備の見通しについて伺います。

〈答〉整備が進められている区間の進捗を考慮するとともに、当該道路の終点付近が土地区画整理事業の計画区域となっていることから、当該土地区画整理事業の事業化と併せて検討を行いたいと考えています。

有価物集団回収の奨励金

〈問〉有価物集団回収の奨励金の単価について、段ボールは容積が大きく作業コストがかかる状況を鑑み、増額への見直しを検討してもらいたいと思いますが、当局の考え方を伺います。

〈答〉団体ごとに活動回数や回収量に差があることから、地域活動の支援を図りながら公平性なども考慮しつつ、慎重に検討していきたいと考えています。

前橋令明
木部 秀人

スタートアップ企業支援の課題

〈問〉本市の経済発展にとって大きな可能性を持つスタートアップ企業への支援は、今後ますます必要な取組だと考えますが、支援に当たりどのような課題があるのか伺います。

〈答〉スタートアップ企業は、市場の新たなニーズを生み出し、社会課題の解決に結び付くなど、新たな市場やビジネスモデルを創出し、挑戦するものです。そのため、企業のニーズを正確に把握すること、支援策を具現化することが課題と捉えています。

新前橋駅西口地区への企業誘致

〈問〉企業誘致には、専門的な知見を有する外部機関などとの連携も有効と考えますが、新前橋駅西口地区への企業誘致についてはどのように考えているのか伺います。

〈答〉オフィス機能を含めた企業誘致については、群馬県の東京事務所などとも連携を図りながら取り組んでいきます。

前橋令明
佐藤 祥平

外国人に関するアンケート

〈問〉令和六年度に実施した外国人に関する自治会アンケートの内容と、その結果をどのように活用していくのか伺います。

〈答〉外国人住民の自治会加入状況や日常生活での交流や課題を聞き、生活ルールの周知など具体的な提案も寄せられました。こうした声をしっかりと受け止め関係各課と連携し、外国人住民と地域住民がともに安心して暮らせる環境づくりを進めます。

空き家と移住政策

〈問〉空き家を移住政策の受け皿として活用すべきだと考えますが、移住者支援に関して担当部局とどのように連携しているのか、実績を含めて伺います。

〈答〉担当部局と情報共有し、多くの移住希望者に空き家を提供できる取組を目指しています。過去三年分の実績で、空き家バンクの成約件数は十六件、空き家リフォーム補助は転入者が六

質問

十五人で、十五件の利用でした。

日本共産党市議団
近藤 好枝

千代田町中心拠点地区再開発

〈問〉千代田町中心拠点地区再開発事業は、物価高騰などで事業費が膨れ上がり、更に事業の成立性、事業の継承の公平性、中立性、市民にとっての魅力創出に課題があると考えます。事業費や本市の財政計画と見通しを市民に開示し、市民合意が大前提のうえで、大きなリスクを伴う千代田町再開発の凍結を決断し、図書館本館については別途検討する必要があると考えますが、市長の見解を伺います。

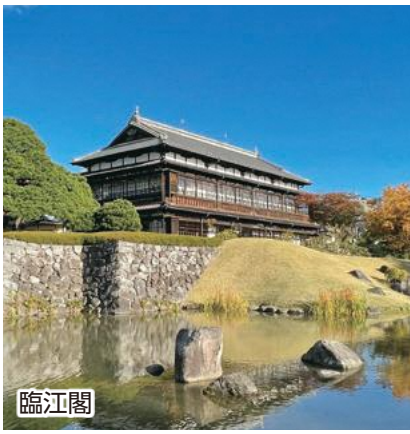
〈答〉市民の皆さんへの説明会なども予定されているので、多くの人に関心を持ってもらい、必要性やこれまでの経過、前橋の未来について一緒に考えてもらいたいと思っています。

日本共産党市議団
吉田 直弘

臨江閣、前橋公園の指定管理

〈問〉臨江閣の毀損事故は、撮影事業者の都合が最優先にされ、文化財の保護が後回しにされた結果起きた事故です。前橋公園、臨江閣全体の公共性の役割をたいせつにするために、本市と指定管理者が総括してルールを明確にすべきと考えます。指定管理移行後も住民利益を最優先の管理が求められています。本市として、公平性、公共性をどう確保していくのか伺います。

〈答〉企業の利益追求ではなく、これまで本市が行ってきた利用のルールや手続きを維持、改善し、新規施設整備についても公共性の確保に努め、公園利用者全体の利益となるように指定管理者と取り組みたいと考えます。



日本共産党市議団
小林 久子

運賃値上げの撤回

〈問〉地域公共交通を守るために、収支率を基準にするのではなく、国や県が支援するのは当たり前で、補助などを強く求めていくべきです。割引をまともに使えない人が多い現状を放置したまま、更なる負担を負わせることは絶対に認められません。マイバス、デマンドバスの運賃値上げを撤回すべきと考えますが、見解を伺います。

〈答〉運行コストが向上する中、利用者からも適正な運賃を負担してもらう必要があると考えています。引き続き公共交通全体の利便性を向上させ、安定的に公共交通サービスを提供し、誰もが気軽に外出できる交通体系を構築したいと考えています。

日本共産党市議団
吉原 大輔

下水道使用料の値上げ回避

〈問〉異常な物価高騰の中で、市民の暮らしがこれだけ疲弊している今、市民の生活を守ることを最優先にすべきです。一般会計からの繰り入れを減額せず継続して、誰もが安心して上下水道を使えるように、あらゆる策を講じて下水道使用料の値上げを回避すべきと考えますが、見解を伺います。

〈答〉使用料改定の方針の撤回は、管路や施設の適正な維持管理が困難になるだけでなく、老朽化施設の更新が滞ることにもつながり、管路の破損による道路陥没など重大な事故を誘発する可能性もあります。方針撤回は困難であり、必要不可欠なものだと考えています。

公明党市議団
中里 武

生活者支援策

〈問〉生活者支援策について、物価高騰により厳しい状況に追い込まれる市民に対して、政治は何も形で示してあげられないのか、見解を求めます。

〈答〉予算化した各事業の着実な実施が、限られた財源の中で取り得る最善の対応策だと考えています。引き続き民間企業との連携も視野に入れ、議員の皆さんとも情報共有、意見交換を行い、実情に合った生活支援策を考えていきたいと思います。

マイタク制度の見直し

〈問〉マイナンバーカード非保有者に限り、紙利用券を使用できるようマイタク制度が見直されますが、この二重制度は将来継続していくのかを伺います。

〈答〉マイナンバーカードに関して紙利用希望者への丁寧な周知と移行の支援を進めながら、年度ごとに利用者の希望数、利用実態などを分析、検証し、制度の見直しの必要性、そして制度の継続について判断したいと考えています。

公明党市議団
高橋 照代

コミュニティプールの再開

〈問〉再開を待ち望む市民の声に応え、早期に城南運動公園のコミュニティプール再開を検討してもらいたいと思いますが、当局の見解を伺います。

〈答〉市有施設全体の在り方の中で庁内検討を進めていて、令和七年度は健全度調査を実施し、早期再開に向けた整備に着手していきたいと考えています。

ケービックスまえばし福祉会館

〈問〉ケービックスまえばし福祉会館二階の多目的ホールは定員五百人で、芸術文化活動にじゅうぶんに利用できる可能性があり、今後は有効活用策として利用できるようにしたらどうかと考えますが、見解を伺います。

〈答〉利用許可基準に合った活動であれば利用できますが、音響や照明など設備的にはふじゅうぶんなところもあります。所管の教育委員会とも調整を行いながら、より多くの市民の人たちに利用してもらえるよう努めていきます。

ケービックスまえばし福祉会館　多目的ホール

公明党市議団
明野 康剛

高齢者への見守り体制

〈問〉高齢者への見守り体制の現状について伺います。

〈答〉高齢者の独り暮らしや高齢者のみの世帯などに対し、緊急通報システムや見守りライトなどの事業を実施しています。地域包括支援センター、前橋市社会福祉協議会などと連携しながら、地域住民が主体となり、介護、福祉関係者、企業、団体などと協力し高齢者の見守り活動の推進に取り組んでいきます。

就職氷河期世代支援

〈問〉就職氷河期世代は、安定したキャリア形成が難しい状況がありますが、どのような就職支援を行っているのか、当局の見解を伺います。

〈答〉ジョブセンターまえばしにて、就職氷河期世代を対象に、カウンセリングから職業斡旋までを行う総合的な就職支援を行ってきました。令和七年度は、国の方針も踏まえながら、幅広い世代に対象を広げたまえばし就活キャリアリスタート支援事業として、引き続き実施します。

まえばし市民クラブ
三森 和也

新清掃工場の整備

〈問〉延命化工事を行った六供清掃工場もいずれは耐用年数が来ることになり、新清掃工場の建設には、用地選定を含めると一般的に十五年程度必要とされます。これまで桐生市、伊勢崎市、みどり市、玉村町と広域的なごみの処理に向けて取り組んでいると聞いていますが、今後の取組について伺います。

〈答〉現在は、各市町の実情を反映した共通方針の形成に向け、首長間の意見交換会開催の準備を進めています。経済性だけでなく、住民の理解を得られる広域化の形を模索し、用地選定を含む整備スケジュールや施設の基本方針を詰めていきたいと考えています。

まえばし市民クラブ
角田 修一

自治会への加入

〈問〉本市は、地域によって六〇%台から九〇%台まで自治会加入率に大きな差が生じていますが、①加入しない原因②自治会未加入者の加入に向けた考え方について伺います。

〈答〉①自治会活動や役員の負担が大きく加入をためらう傾向や、地域とのつながりを求めないという考え方の変化が考えられます②自治会活動に関心を持ってもらうためのきっかけづくりがたいせつだと考えます。未加入者が地域の人たちとの交流を持つ機会を提供し、つながることの楽しさや、地域で必要とされていることを実感してもらうことができれば、自治会への加入促進につながると考えます。

まえばし市民クラブ
大澤 智之

防災のフェーズフリー

〈問〉本市では近年大きな災害を経験していないため、備蓄品を準備していない市民も多くいます。日常使いのものを非日常にも役立てるという考え方の防災のフェーズフリーを推奨していくことが有効だと考えますが、本市の見解を伺います。

〈答〉この考え方は、市民が自助として災害に備える中でたいへん有効です。以前から食料品のローリングストックなどについて周知していますが、今後も、

総括質問

日常使いの可能な食品などを災害時にも

災害時専用の備蓄品の必要性だけでなく、日常使いの可能な食品や日用品などを災害時にも使うことができるという、防災のフェーズフリーの考え方を周知啓発していきます。

七星
中林　章

備蓄米価格の新米価格への影響

〈問〉新米価格が落ち着いたとしても生産者に還元されるのか、適正価格が消費者に受け入れられず、仕入れ後に販売価格が下がればスーパーや小売店に打撃が生じるのではと危惧しています。誰が前橋市の農家を守るのでしょうか。備蓄米の価格は一過性のものとして捉えているのか、新米の価格に影響が出る可能性があるのか、当局はどのように分析しているかを伺います。

〈答〉取引価格は上昇傾向で、農家の売却価格は、令和六年度産米より高めになると想定されます。高い米が売れなかった場合、次年度以降、平成二十六年の米価暴落のようなことにならないかと懸念している状況です。

なないろ
入澤　繭子

歩行訓練士の育成

〈問〉歩行訓練士は視覚障害者が安全に歩けるよう指導、支援する専門職で、日常生活に必要な動作や技能の指導も担います。群馬県においては一名だけで、後継者もいない状況です。視覚障害者の自立支援のため、歩行訓練士の資格を持っている人員が必要と感じますが、今後育成する考えがあるのか伺います。

〈答〉歩行訓練士は、厚生労働省が全国二か所の養成機関を指定し、実施している民間資格であり、履修期間が二年を要するなど高度な専門性を有します。現状では、市独自で資格取得を支援する考えはありませんが、引き続き国や県の動向を見守っていきたいと考えています。

無所属の会
宮崎　裕紀子

千代田町中心拠点地区再開発

〈問〉千代田町中心拠点地区再開発事業では、スズランは営業を継続したまま再開発を進めていく予定でしたが、工程変更により、営業を一旦休止しなければならないと聞いています。一時休業すると、その期間は休業補償なども発生するのではないかと考えますが、今後どのように対応していくのか伺います。

〈答〉事業コスト縮減の検討に時間を要し、当初の工程で進めることが難しく、店舗の営業休止も考えられます。仮にそうなった場合、再開発組合が権利者に対し、営業休止に伴う補償や仮店舗が必要となった場合の費用補償などを事業の中で対応していくことになります。

暁鐘
岸川　知己

納骨堂条例の改正

〈問〉市営納骨堂には引き取り手のない遺骨が収蔵されていますが、収蔵期限が定められていません。一度収蔵されれば、基本的にはそのままとなります。納骨堂条例を改正して収蔵期限を定め、期限を迎えた後は弔いの場として新たに合同埋蔵施設などを設けて合祀するなど、亡くなった人に対する配慮や敬意があるべきと思いますが、当局の見解を伺います。

〈答〉納骨堂の収蔵件数は上限に近く、条例改正の対応も有効な手段と考えます。収蔵されている遺骨を合祀するための課題を整理しながら、先進都市の状況を調査し、死者の尊厳を守る施策を検討したいと考えます。

無所属クラブ
阿久澤　萌

自主防災組織

〈問〉自主防災組織について、①未設置または活動が停滞している地区の数②課題③課題に対する支援策について伺います。

〈答〉①令和七年五月末時点で三十一の自治会が未設立で、休眠状態のケースは実態の把握が難しい状況です②持続可能な組織運営が困難になっている地域があり、多世代が連携する防災体制の構築が進んでいないことも大きな課題です③未設立の自治会に対しては自主防災会の必要性を丁寧に説明し、防災アドバイザーによる個別支援も行っています。既に設立されている自治会には防災訓練の企画支援や、資機材整備に必要な経費への補助なども行っています。

議　案　の　議　決　結　果

第２回定例会に提出された議案の議決結果は次のとおりです。

○市長提出議案

※賛成・反対の双方があった案件は網掛けで表示しています。

議案	件　　名	議決結果
第76号	令和７年度前橋市一般会計補正予算	可決（全員）
第77号	前橋市職員の育児休業等に関する条例及び前橋市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正について	可決（全員）
第78号	前橋市市税条例の改正について	可決（全員）
第79号	前橋市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の改正について	可決（全員）
第80号	前橋市立学校の授業料等に関する条例の改正について	可決（全員）
第81号	工事請負契約の締結について（前橋総合運動公園運動施設整備工事（第９号））	可決（全員）
第82号	工事請負契約締結の議決事項の変更について（駒寄スマートＩＣ産業団地造成事業雨水調整池築造工事）	可決（多数）
第83号	工事請負契約締結の議決事項の変更について（消防局中央消防署赤坂分署新築建築工事）	可決（全員）
第84号	物品の購入について（災害対応特殊救急自動車）	可決（全員）
第85号	物品の購入について（消防救急デジタル無線機器（携帯型無線装置等））	可決（全員）
第86号	物品の購入について（消防救急デジタル無線機器（車載型無線装置））	可決（全員）
第87号	物品の購入について（学校給食用食缶等）	可決（全員）
第88号	市道の廃止について	可決（全員）
第89号	物損事故に係る損害賠償の額を決定することについて	可決（全員）
第90号	令和７年度前橋市一般会計補正予算	可決（全員）
第91号	前橋市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の改正について	可決（全員）
第92号	前橋市教育情報ネットワークへの不正アクセスに関する損害賠償請求訴訟に係る和解について	可決（全員）
第93号	固定資産評価員の選任について〈羽鳥　純子 氏〉	同意（全員）

報告	件　　名	議決結果
第１号	前橋市市税条例の改正の専決処分について	承認（全員）
第２号	前橋市国民健康保険税条例の改正の専決処分について	承認（全員）

賛　否　の　公　表

賛成・反対の双方があった議案について表示します。　（○賛成、●反対）

会派名／議員名／議案番号	前橋高志会													前橋令明									共産党				公明党				市民クラブ			七	な	会	暁	ク
	小曽根英明	藤江彰	金井清一	新井美加	近藤登	富田公隆	窪田出	須賀博史	林倫史	山田秀明	小川真太郎	間仁田諭	吉田博昭	小渕一明	堤波志芽	横山勝彦	林幸一	市村均光	佐藤祥平	木部秀人	下田一成	水野芳宣	近藤好枝	小林久子	吉田直弘	吉原大輔	石塚武	高橋照代	中里武	明野康剛	角田修一	三森和也	大澤智之	中林章	入澤繭子	宮崎裕紀子	岸川知己	阿久澤萌
第82号	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

＊議長は議決に加わらないため「／」で、欠席議員は「－」で表示しています。
＊会派名：共産党（日本共産党前橋市議会議員団）、公明党（公明党前橋市議会議員団）、市民クラブ（まえばし市民クラブ）、七（七星）、な（なないろ）、会（無所属の会）、暁（暁鐘）、ク（無所属クラブ）

意見書

第二回定例会では、意見書案五件を可決し、国会などに提出しました。要旨は次のとおりです。

○地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書

地方消費者行政強化交付金は、令和七年度末には多くの地方公共団体で活用期間が終わるため、交付金を活用して実施してきた相談体制の維持や、啓発・消費者教育に係る事業の継続が困難となるなど、地方消費者行政の後退・縮小が懸念されることから、次の事項について国に強く要望する。

①地方公共団体の財政事情によることなく、地方消費者行政を安定的に推進するための恒久的な財源を措置すること②消費生活相談員の安定的な確保と処遇改善に係る制度設計に必要な予算措置を講じること③国が進める消費生活相談デジタル化に係る予算を国の責任で措置すること。

○北朝鮮による拉致被害者の早急な全員即時一括帰国を求める意見書

拉致被害者自身及びその家族の高齢化が進んでおり、近年では横田めぐみさんの父・滋さんに続き、田口八重子さんの兄・飯塚繁雄さんが、拉致被害者との再会を果たせぬまま他界され、拉致問題は一刻の猶予もない状況に置かれている。

今後も拉致問題を「最優先、最重要課題」と位置づけ、北朝鮮による拉致問題を風化させることなく、拉致被害者全員の帰国の実現に向けて国を挙げて全力で取り組むことが必要であることから、全拉致被害者の即時一括帰国の早急な実現のために全力を尽くして取り組むことを、国に強く要請する。

○米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書

米国の関税措置に対し、特に日本の企業の九割以上を占める中小企業等を対象とした、具体的かつ手厚い施策を講じるため、次の事項を国に強く要望する。

①日々状況が変化する中、特に不安が募る中小企業事業者等の声に耳を傾け、丁寧な対応を行うこと。また、各省庁の地方支部や関連団体に特別相談窓口等の体制を整え、不安の払拭に努めること②日本政策金融公庫のセーフティネット貸付について、窓口での積極的な制度の提案やオンライン手続の周知・広報等、事業者の側に立った手厚い対策を講じること。加えて米国の関税措置による、直接的、間接的な事業者への影響を踏まえてセーフティネット保証制度の適用等の資金繰り支援に万全を期すこと③各省庁・政府関係機関での特設サイトの設置等、政府として可能な限り速やかに、正確で最新の情報を国民や事業者にわかりやすく発信すること。

○三歳未満児の保育料無償化の早期実施を求める意見書

東京都、宮崎県都城市、大阪府守口市などをはじめとして第一子保育料無償化や第二子以降保育料無償化など独自に対象拡大を行っている自治体が増えているが、各自治体の財政力の違いから、保育人材の確保や財源確保において多くの課題があり、取組に格差が生じている。しかし、本来は、国において一律的に施策が実施されるべきであることから、三歳未満児の保育料無償化の早期実施を国に強く求める。

○外国人土地取得規制強化を求める意見書

土地利用規制法で定められた規制対象区域を除き、日本における外国人による土地の売買は、日本人と同様に購入が可能となっており規制対象区域以外については、取得の実態について把握されていない。

政府は二〇二三年九月に農地取得を目指す外国人に、国籍や在留資格の報告を義務づけたが、それ以前は正確な取得状況を把握しておらず、事実上、放置されていた実態となっている。

我が国の総合的な安全保障の確保を図るためには、安全保障に支障を及ぼすおそれのある土地の取得・利用・管理の規制に関する施策を総合的に推進するとともに、外国人による土地所有の実態調査を早急に実施すべきであることから、外国人土地取得規制の強化について、国に強く要請する。

議会日誌

五月から七月までに開催した主な会議は次のとおりです。（　）内は開催回数です。

本会議(5)、総務・教育福祉・市民経済・建設水道常任委員会(1)、議会運営委員会(6)、各派代表者会議(4)、議会図書室運営委員会(1)

次回の定例会

第三回定例会は九月二日㈫から二十六日㈮までの二十五日間を会期として開催されます。九日㈫、十日㈬には総括質問が行われる予定です。十六日㈫、十七日㈬、十八日㈭、十九日㈮の四日間は各常任委員会の決算審査が行われる予定です。

本会議の傍聴は議会庁舎七階で、委員会の傍聴は議会庁舎四階の議会事務局で受け付けます。

会議当日、受付に直接お越しください。

会議の模様はインターネット中継でもご覧いただけます。

インターネット中継→

前橋市議会
〒371-8601　前橋市大手町二丁目12-1
直通☎898-5923　FAX243-3520